

# Assistant Language Teacher

ALTとは、Assistant Language Teacher (外国語指導助手) の略で、町内の小中学校で英語を教える先生の助手です。児童生徒たちの国際感覚や外国語能力の向上を目的としています。

今年度、町ではALTを従来の2人体制から1人増員し、3人体制とすることにしました。新たに能登町に来ることになったALTはアレックスとジョンの2人。昨年から来町しているイライザと3人で、町の子どもたちに楽しく、元気に英語を教えてください。

みなさん、この3人を町で見かけたら気軽に声をかけてあげてください。



## イライザ マスケット

Eliza Muskett

能登町での生活が2年目となるイライザはオーストラリア出身の23歳。1年間を振り返ってもらうと「今は能登半島に恋しているみたい」と笑顔で話してくれた。楽しかったことや大好きなことは「よさこい、祭り、寿司、学校も楽しい」というイライザ。今年は太鼓とよさこいにチャレンジしたいそうだ。2年目の目標を聞くと「もっと日本語が上手になりたい」とのこと。日本語は「めっちゃむずい」らしいので…



## ジョンナサン カutting

Jonathan Cutting

イギリス出身のジョンは、見た目もジェントルマンな30歳。「日本が好き」というジョンは、イギリスでも英語の先生をしている。能登町の印象を「グリーンがたくさん!」と話ずジョン。子どもたちとは、開放的でフレンドリーな授業をしたいと話ず。太鼓や柔道にも挑戦したいというジョンは、出会う人みんなに「コンニチハ」とあいさつしている。

ジョンにあいさつされてもビックリせずに気軽に話しかけてください。



## アレキサンダー ホフスティーン

Alexander Hofsteen

アレックスは、アメリカサンフランシスコ出身の31歳。まだ日本語をほとんど話すことができない彼に能登町の第一印象を聞くと「ビューティフル!」の一言。フットボールでアウトドアスポーツが大好きなアレックスは、肉は食わずにお寿司が大好物とのこと。子どもたち一人ひとりとコミュニケーションを取りたいというアレックス。元気な子どもたちに会えることを楽しみにしているそうだ。

「弁天様の婿にふさわしい絵を描きたい」巨大な勇壮な武者絵が描かれる鶴川の「にわか」。各町内ごとに毎年描かれる武者絵は、絵師と呼ばれる人を中心に約1週間かけて仕上げられる。その絵師を38年続けていのが、鶴川で「源ちゃん」と親しまれている馬場源吉さんだ。

小木の袖キリコでも20年以上絵を描いているという馬場さんの絵師デビューは高校2年の時だった。「最初の何年かは原画どおり描くことを心掛けた」という。その後、自分流のアレンジを加えたがうまくいかずに再び原画どおりというスタイルに戻った。「最近では、誰を描くかというテーマを決めるようになった」という馬場さん。「誰にどんなポーズを取らせるか、どんな服を着せるか、頭の中でイメージできるようにした。こうなると楽しく」と語る。馬場さんが絵を描くときに一番注意していることは「目線」だそうだ。「目でその絵が決まると、生きる」という。

絵師としての今後を聞くと「そろそろ若い人に引き継ぎたいが、絵師を育てても鶴川を出て行ってしまおう」とさびしうに話す。「手伝いに来てくれる子どもたち全員に教えてくれるが、その中で一人でも絵師が生まれて欲しい」と願っている。武者の顔を描き始めた馬場さんは「自分のイメージどおりの顔になってきた」と嬉しそうに表情を見せる。馬場さんの引退はまだまだ先のようだ。

にわか絵師

ばばげんきち  
馬場源吉さん (54歳・鶴川)

## エコライフ大作戦の取り組みは 15 項目

( ) 内の数字は、1日で減らせる二酸化炭素の重さです。

- 
- 1 テレビなどの家電製品は主電源で切った。(250g)
  - 2 人のいない部屋の照明をこまめに消した。(23g)
  - 3 エアコンを適温に設定した。(目安として冷房 28℃) (97g)
  - 4 自動車を使わず、バス、電車、自転車、徒歩でかけた。(330g)
  - 5 お風呂は冷めないうちに、続けて入った。(126g)
  - 6 カーテン、ブラインド、よしずを使って直射日光を避けた。(30g)
  - 7 冷蔵庫の扉を開け放さず、すぐに閉めた。(18g)
  - 8 マイバックなどで買い物し、レジ袋をもらわなかった。(48g)
  - 9 お風呂の残り湯を洗濯に使った。(30g)
  - 10 市や町のルールに従って資源ごみを分けて出した。(115g)
  - 11 シャンプー、洗剤などは詰め替え商品を選んで買った。(140g)
  - 12 トイレットペーパーや文房具などはリサイクル製品を選んで買った。(23g)
  - 13 野菜などはパックされていないばら売りの商品を選んで買った。(22g)
  - 14 水を流しっぱなしにしなかった。(28g)
  - 15 ご飯やおかずを残さず食べた。(16g)

# 10月22日

## 能登町議会議員選挙

午前7時～午後7時 (一部投票所は午後6時)

(予定)

### ★立候補予定者説明会

【日時】9月27日(水)午後2時

【場所】能都庁舎 4階ホール

### ★期日前投票 (予定)

【期間】10月18日(水)～21日(土)

【場所】役場各庁舎・各支所

問 選挙管理委員会  
☎ 62-8510



### 県民エコライフ大作戦のねらい

地球温暖化が進んでいます。石川県では地球温暖化を防止していくための具体的な約束である「京都議定書」達成のために、平成22年までに平成13年に比べて7・8%の二酸化炭素が出る量を減らすという目標をたてています。

「県民エコライフ大作戦」は、県内市町、企業、各種団体などたくさんの方々と一緒に、身近な地球温暖化防止に取り組む活動で、今年はいじめて行うものです。

### 大作戦への参加の仕方

左にある15の取り組み項目のうち、できることを1週間の期間中に1日でも、2日でも、毎日でもできるだけ多くチャレンジしてください。

1週間の取り組みが終わったら、取り組みチェック表に記入し、提出してください。

取り組みチェック表は、役場各窓口に備えるほか、石川県のホームページからもダウンロードできます。また9月11日からはホームページから直接報告ができるようになります。

### 【提出先】〒920-8558

金沢市鞍月1丁目1番地

石川県環境安全部環境政策課

☎ 076-225-1146

### 大作戦の効果

県では、集まった取り組みチェック表を集計し、1週間でどれだけ二酸化炭素を減らすことができたかまとめ、その結果を公表します。

○石川県では、家庭から二酸化炭素が排出される量を平成22年までに18万8千トン減らすことを目指しています。  
○家庭内の省エネ行動を県内すべての家庭が毎日実行すると、1年間で約9万トンの二酸化炭素を減らすことができます。  
○残りは省エネ型の家電製品や、ガス器具などに切り替えていくことで減らせます。

### 問 環境対策課 ☎ 62-8507

石川県環境安全部環境政策課

☎ 076-225-1146

循環型社会推進室

石川県環境安全オリジナルキャラクター



### ホームページアドレス

<http://www.pref.ishikawa.jp/kankyo/pp/ecolife/index.html>



能登海洋深層水施設 1周年記念イベント  
**深層水の良さを再認識**

昨年8月に小木港にオープンした「能登海洋深層水施設」。その1周年を記念したイベントが7月30日に行われ、大勢の人で賑わいました。会場には深層水にちなんだ屋台がずらりとならび、深層水のいけすに入ったアワビの踊り焼きや深層水かき氷、足湯コーナーなどが人気を呼んでいました。  
また、飲料水を除く原水、濃縮水、脱塩水各20%が無料で配られ、給水コーナーには容器を持った家族連れなどで行列ができていました。そのほかにも太鼓や踊り、カラオケ大会などが催され記念イベントを盛り上げました。



給水コーナーには長蛇の列が！

スポーツ少年団内浦支部交流会  
**海の町と山の町で交流しよう！**

夏休みを利用して、町スポーツ少年団内浦支部と富山市大山スポーツ少年団との交流会が7月28日からの3日間、県立能登少年自然の家を主会場に行われました。交流会には小学校高学年の団員を対象に能登町から50人、富山市から30人の合わせて80人が参加しました。平成11年から毎年交互にお互いの町を歩き来して続けられているこの交流会。団員たちはスポーツ活動や、大型カヌーに乗る海洋活動などを通して友情を深めました。最終日の30日には、来年の夏、富山で再会することを約束して大山スポーツ少年団のみんなを見送りました。



力を合わせて能登の大海原にしゅっぱーつ！

町長に展示物の説明をする「さねより館」館長の中與七郎さん



プチミュージアムがオープン  
**眠っている宝物を発掘！**

貴重な歴史資料や風習などを、保存伝承していこうと力を注いでいる団体「民有『歴史文化』資産の保存活用を考える会」が7月31日、古文書などを展示した小さな博物館「さねより館」を松波にオープンさせ、関係者ら15人が出席して開館セレモニーが行われました。公益信託能登町エンデバーファンド21の助成を受けているこの事業、秋吉地区のアマメハギ保存会長を務める天野登さん宅に作られた「あまめはぎ館」と合わせ2つの博物館の開館にこぎつけました。関係者らは「町内50カ所を目標にさらに活動の輪を広げたい」と話していました。

町内から募集したホストファミリーとの対面式



ドイツ青少年が能登町訪問  
**スポーツが結ぶ国際交流**

平成4年から毎年交互に団員を派遣している、町スポーツ少年団能都支部とドイツ・バイエルン州のスポーツユエグントオーバーパファルツ支部団との交流会が8月4日から7日までの日程で行われました。4日、ドイツ支部団12人が能都庁舎を表敬訪問し、持木町長や交流事業の関係者らが集まり団員たちを歓迎しました。その後、ドイツ支部団は遠島山公園へと向かい、古い民具などが展示されている民族館や郷土館などを見学しました。滞在最終日まで、団員たちはホストファミリーと一緒に、祭り見学や海水浴などを楽しみ交流を深めました。

皇太子殿下下啓  
**皇太子殿下が3年ぶりに来町**

珠洲市で開催された第14回日本ジャンボリーにご出席するために石川県を訪れていた皇太子殿下が、8月6日に来町され、町内の2施設を視察されました。

のと海洋ふれあいセンターで、海の自然体験館やスノーケリングなどを視察した殿下は、体験に参加している子どもたちに気さくに声をかけられていました。また、県水産総合センターでは、アカガイやトリガイなどの飼育状況を視察され、職員からの説明を興味深そうに聞き入っていました。



▲子どもたちに笑顔で話しかける殿下

◀水産総合センター飼育実験棟では、アカガイやトリガイの飼育をご視察



海洋ふれあいセンターのスノーケリングフィールドにて、海で採取した生き物の説明を熱心に聞かれる皇太子殿下

流山市自然体験学習ツアー  
**夏休みの思い出は能登町で**

町が友好都市として交流を重ねている千葉県流山市。この流山市の小学生を対象にした自然体験学習ツアーに参加した児童28人が8月7日、能登空港に到着し、5日間の日程を楽しみました。持木町長や関係者らが到着ロビーで出迎え、空港前では小木中学校吹奏楽部24人による演奏会が行われました。

演奏に先立ち、部長の坂東志穂さんが「楽しい思い出ができるように心を込めて演奏します」と歓迎の言葉を述べ、用意した3曲を次々に演奏しました。このツアーをきっかけに今後さらに空港を利用した交流人口の拡大が期待されます。



能登空港がコンサート会場に！

能登町を舞台に映画ロケ  
**腑抜けども クランクイン**

白山市出身の小説家、本谷有希子さん原作・佐藤江梨子さん主演の映画「腑抜けども悲しみの愛を見せろ」の撮影が黒川地区で始まりました。この映画は、石川県や能登町が協力し、地域密着ロケを掲げてロケ地・エキストラ・方言指導などに地域が協力して制作が進められます。この日も募集した地元エキストラ約40人を前に、俳優の永瀬正敏さん、永作博美さん、佐津川愛美さんらが熱演しました。

撮影は9月上旬までを予定しており、天候にも恵まれ順調に進んでいるそうです。映画は来年夏に全国公開予定です。



この日は、お葬式のシーンを撮影

真剣な表情で土器作りに挑戦する留学生たち



JAPANTENT 留学生が来町  
**能登の文化をお土産に**

日本で学んでいる留学生を石川県に招き、県内全域を会場に毎年夏に開催されているジャパンテント。8月1日からの4日間、中国やアメリカ出身の留学生たち10人が能登町を訪れ、ホストファミリーらと交流を深めました。

3日、留学生たちは縄文真跡遺跡体験館で土器作りに挑戦しました。ひも状にした粘土を積み上げ、縄目模様をつけて仕上げる縄文土器。参加者たちは2時間かけて個性的な作品を作り上げていました。能登町の豊かな自然や文化、そして能登の人の温かさをいつまでも忘れずにいてくれるといいですね。

「僕たちの川で大きく育ててね！」



コイの稚魚を放流  
**魚にやさしい川を作ろう**

8月7日、笹ゆり学童クラブの児童13人が町野川でコイの稚魚を放流しました。この日、柳田河川漁業協同組合の協力により、加賀市から運ばれてきた生後3カ月で、体長約5cmの稚魚5千匹が柳田地区の6カ所で放流されました。児童たちはバケツの中で元気に泳ぐ稚魚の姿を嬉しそうに覗き込みながら、小さな器にすくい入れ、川べりに並ぶと声をかけながらゆっくり川に放していました。水の汚染の多くは家庭排水が原因となっています。多くの生き物が生息できるきれいな川を後世に残すため、一人ひとりが環境保護に努めましょう。

ござれ祭り2006  
**元気な能登町を象徴するイベント**

今年で15回目を迎えたござれ祭りが、8月19日に柳田植物公園で開催されました。会場となったお祭り広場ステージでは、柳田中学校ブラスバンド部の演奏やウルトラマンショー、郷土芸能やよさこいなどが披露され、訪れた約15,000人を楽しませました。夕方からのMROラジオ公開録音では、地元出身の歌手をはじめ、キム・ヨンジャさんが熱唱し会場を沸かせました。

恒例となった花火大会では、3号、4号、7号玉やスターメインが次々と打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。



▲キム・ヨンジャさんは、ステージを降りて素敵な歌声を聞かせてくれました

◀今年は6チームが参加したよさこい。北海道大学の学生チーム「縁」の迫力ある演舞に会場は盛り上がりました。もちろん地元YAMABIKO柳屋乱舞隊も元気一杯に演舞してくれました

恋路火祭り  
**2本のキリコが寄り添い海に**

7月27日、悲恋伝説の2人の霊を慰めることに由来する恋路火祭りが行われました。午後10時ごろ、恋路海岸に到着した2基のキリコは、ゆっくりと海に入り乱舞します。

キリコが弁財天の前で並ぶと、「アブラモノ」とよばれる仕掛けに火が付けられます。今年は矢がハートにささる演出があり、「恋火祭」の文字が浮かび上がりました。

クライマックスでは大松明に火が灯されます。燃え上がる大松明は夜空を焦がし、海面を真っ赤に染めます。訪れた観客はその幻想的な雰囲気を楽しんでいました。



揺れる小松明も幻想的な雰囲気を演出します

「我こそは弁財天の婿なり」と乱舞するにわか



鶴川にわか祭  
**巨大な武者が乱舞**

鶴川地区の祭礼「にわか祭」が8月24日に行われました。にわかには、各町内の絵師が中心となり約1週間かけて仕上げられた勇壮な武者絵が描かれています。午後9時、見聞しの浜に集結した8基のにわかは、「やっさい、やっさい」と担ぎ手に押され、威勢良く町中を練り回ります。

クライマックスは午前0時から海瀬神社での乱舞です。描かれた武者はここで弁財天に婿入りするとされており、8基のにわか、自慢の武者絵が最も勇壮に見えるように、夜を徹して境内を乱舞しました。